

令和8年 第9回奈井江町教育委員会会議録(第1日)

招 集 年 月 日	令和8年9月10日				招 集 場 所	公 民 館 中 会 議 室		
開 会 日 時	開 会	令和8年9月17日				午後 1 時 00 分		
閉 会 日 時	閉 会	令和8年9月17日				午後 2 時 15 分		
応 招 委 員	教 育 長	相 澤 公 〇	委 員	山 本 和 樹 〇				
	出席 5 名	職務代理者	三 原 新 〇	委 員	田 口 友 子 〇			
	欠 席 名	委 員	塩 田 邦 恵 〇					
議 事 出 席 職 員	事 務 局 長	遠 藤 友 幸					傍聴人 0人	
	文化振興係幹主	菊 地 純						
	教育支援係幹主	井 上 圭 世						
会 議 に 付 し た 議 事 案 件	号 数	件 名				可否区分		
	報告第1号	教育長行政報告				承認		
	議案第1号	専決処分の承認を求めることについて				可決		
	協議第1号	義務教育9年間の学校の仕組み(小中一貫教育)について				継続協議		

令和 8 年第 9 回奈井江町教育委員会議事録

	1. 開会 13:00
遠藤局長	ただ今より第 9 回奈井江町教育委員会を開催いたします。教育長、挨拶以降進行についてよろしくお願いいたします。
相澤教育長	教育委員会ご出席お疲れ様です。本日は、先月の学校運営協議会からの答申を受けて義務教育 9 年間の学校の仕組みについて協議を開始していきます。どうぞよろしくお願いいたします。 次第 3 番、前回の会議録の承認の説明をお願いします。
井上主幹	3. 前回（令和 8 年 8 月 27 日）会議録説明
相澤教育長	皆さんから何かございますか。
委員	ありません
相澤教育長	それでは、承認とします。
相澤教育長	4. 報告 報告第 1 号 教育長行政報告 1 ページをご覧ください。 8 月 29 日、角野未来さんのピアノリサイタルを開催しております。札幌のコンサートホールのスタッフとのつながりからコンサート開催に至りました。角野さんはファーストアルバム発売を控える時期での来町で、質の高い演奏を披露していただきました。来場者からも満足したという声を聞いています。 9 月 2 日には町スポーツ協会の総会を開催しています。 そして、9 月 8 日からの町議会第 3 回定例会で、全国学力・学習状況調査について例年より踏み込んで報告しました。小学校は全国平均との差が国語プラス 2.1 ポイント、算数プラス 3.6 ポイントでした。協働的な学び、算数の取り出し授業、公設塾などの効果を感じています。一方、中学校は国語マイナス 12.9 ポイント、数学マイナス 18.0 ポイントでした。長文から情報を整理し、問いを把握し、自分の考えを形成・表現する力に課題があると捉えています。辞書引き学習に期待する一方、家庭でのスマートフォンの使い方も課題の一つと考えています。各学校で結果を分析し保護者と共有していますが、学校や教育委員会だけの問題ではありません。公設塾や学校環境、小学校 6 年・中学校 3 年の仕組みか 9 年間一貫した環境かを今後議論したいと思います。 以上、行政報告とさせていただきます。ご質問等ございませんか。
委員	ありません。
相澤教育長	それでは、報告済みといたします。
相澤教育長	それでは、 次第 5 番「議事」 に入ります。 議案第 1 号「 専決処分の承認を求めることについて 」です。事務局より説明をお願いします。
遠藤局長	説明
相澤教育長	緊急性があるため事前に予算を決定・執行し、後日報告して承認を求める手続です。質問ございますか。
委員	ありません。

相澤教育長	<p>それでは次、協議第1号「義務教育9年間の学校の仕組み(小中一貫教育)について」です。</p> <p>今日から子どもたちの学習環境、9年間の学校の仕組みを協議します。現状維持でも変更でも学びを見つめ直す機会です。小学校6年・中学校3年の仕組みは1947年から続き、2016年には義務教育学校が制度化されました。学校運営協議会の答申を踏まえつつ、教育環境を大きく変える問題なので焦らず議論していきたいと思います。最初の方は勉強会とし、教育ビジョン策定時と同様に行きつ戻りつしながら5人で決めていきます。校舎などハード面について議論を行うと、そこを中心に考えてしまいがちになりますので、あくまでもソフト面の議論の中心とし、ハード面の議論は先送りします。</p> <p>今後のスケジュール、本日の協議内容等の説明について事務局よりお願いします。</p>
菊地主幹	説明
相澤教育長	5回目で方向性を決め、期間を置き6回目で最終確認したいと思います。慎重に進めてまいりたいと思います。
相澤教育長	では、児童生徒数について質問等ございますか。
三原委員	令和8年の小学校5年生の児童数が突出して多いようですが、何か要因あるのでしょうか。あと、増加率121%も今回の比較値なので、過去も同様だったのか、この121%が今後も続くのか信憑性があるのか知りたいところです。
菊地主幹	現時点では今回の比較しか持ち合わせていませんが、過去にさかのぼって調べることはできると思います。
相澤教育長	以前は小学校入学時に転出する家庭が多い印象でした。買い物や教育環境などが理由だったかもしれません。近年の子育て支援策が保護者のニーズに合い、出生数より在籍者数が多くなっている可能性もあります。新築は建築費高騰の影響がありますが、中古住宅を購入・改修して住む方もいるようです。過去5年程度の割合と企画担当の人口分析を確認しましょう。
田口委員	中古住宅で転入する方も若い世代が多いのでしょうか。
相澤教育長	さまざまですが若い方もいると思います。
三原委員	仕事柄、奈井江町に来た理由として子育て支援が良いと聞きます。
田口委員	他市の方からも支援が充実していると言われます。
菊地主幹	企画担当時代は、その時は教育長も遠藤局長もいっしょだったのですが、小学校入学前に転入すれば、友達ができて住み続けてもらえるのではないかとという発想で、10年ほど前になりますが、住宅取得支援など考えました。
山本委員	広報の出生欄では少なく感じていたので、出生数より在籍数が多いことに驚きました。散歩中に若い人も見かけ、町に増えているのだと感じました。
田口委員	歩いている方は転入者や地域おこし協力隊の方が多い印象です。もともとの住民は車移動が多いのかもしれない。
相澤教育長	将来の人口増の割合が110%か120%か130%かで結論が大きく変わるとは限りませんが、基礎数値は確認しておきたいです。過去5年分を整理しましょう。

相澤教育長	それでは続いて、教員数はどうですか。
田口委員	子どもが減ると教員や特別支援の教員も減る可能性があります。また子どもには今以上に縦割り活動が必要だと思います。
相澤教育長	特別支援学級の児童生徒数については、学級によっても1～3名程度であったりするので、増加率121%という割合では判断できないかなとも思います。
山本委員	中学校の先生が小学校で教えるなど、専門性のある教員から学ぶ機会も大切です。教員数の確保できない現状も聞こえてくるので、教員数の確保は必要だと思います。大人の目が多い方が子どもたちにとっても良いと考えます。
相澤教育長	前段で、スケジュールのことについて意見を聞きもれておりました。いかがでしょうか。
三原委員	6回目で2月に終わる予定でしょうか。期限は決まっていますか。
相澤教育長	期限を明確にはしていません。必要なら7回目があっても構いません。議論が教育ビジョンと異なればビジョンを改めるということも必要だと考えています。
相澤教育長	その他、今後の議論で何か資料等必要だとか、知りたいことなどありますか。
三原委員	小中一貫を議論する際に「中1ギャップ」という言葉がでてきますが、「中1ギャップ」が奈井江町にあるのか、実態を知りたいです。不登校、いじめ、暴力行為が中1で増えるのか、他学年ではどうかも確認したいです。
塩田委員	私は江南小学校で子育てをしていて、児童の数に増減があまりなかったのですが、ここ最近でこのように児童生徒の数が増減している数字の実態をみると、義務教育学校、小中一貫といった仕組みを今は考えなければならぬ時期だと感じました。これからしっかり議論していく必要がありますね。
田口委員	砂川学園を見学し、きれいな校舎で小中学生が一緒にいる変化は感じましたが、学習活動はそれほど変わっていない印象もありました。異学年交流をどのように、どの程度、日常活動に取り入れているか、他校の具体的事例を見たいです。
遠藤局長	先進事例の収集では制度・施設だけでなく、具体的な教育活動や異学年交流も整理します。
相澤教育長	その他ございますか。
相澤教育長	最後に私から、奈井江町は教育大国である「フィンランド」、ハウスヤルビ町との交流を行っています。訪問・受入れは費用や負担から4年に1回程度にする話になりましたが、オンラインなら課題に応じて交流をしていきましようということになったところです。ハウスヤルビ町の国際交流担当者は教育長でもあり、教育関係者や財政担当者をつなぎ、学校の仕組みや町の課題について意見交換が可能です。まだ私の私案なので相手との調整が必要にはなるのですが、みなさんどう思いますか。
田口委員	面白そうですが、フィンランドの学校や保護者の状況、家庭の経済環境や教育観を事前に勉強したり理解しないと話がかみ合わないと思います。
三原委員	家庭教育が熱心な印象ですが、勉強になるでしょうか。

相澤教育長	学校制度に焦点を当ててやり取りすることも可能ですし、必要なら複数回実施も可能かと思います。
委員	せっかくのつながりですしね。活用できればいいかもしれないですね。
相澤教育長	今後、9年間の学校の仕組みの議論を3回ほど進め、町の方が見えた段階で、フィンランドの取組や見方を聞くことも参考になると思うので、4～5回目の協議頃にオンライン交流を検討してみましようか。
委員	そうですね。
相澤教育長	他ございますか。
委員	ありません。
相澤教育長	それではまた、来月よろしくお願いいたします。
相澤教育長	続いて次第7番「その他」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	7. その他 ○連絡事項 ・教育支援係分～井上主幹説明 ・文化振興係分～菊地主幹説明 ○空知管内教育委員会連絡協議会教育委員研修会参加確認 ～10月28日（水）⇒三原代理のみ参加保留。 ○次回、学校要望教育費ヒアリング⇒第10回教育委員会 令和8年10月8日（木）午後1時00分～ ※タブレット配布予定
相澤教育長	その他、みなさんから、何かございますか。
委員	ありません。
相澤教育長	以上で、第9回教育委員会を終了いたします。
	8. 閉会 14:15